

UMC-Japanese Ministry
11 Highgate Terrace
Bergenfield, NJ 07621 USA

新サーキットライダー2009年 夏号



United **M**ethodist **C**hurch - **J**apanese **A**merican **M**inistry

合同メソジスト教会日本語ミニストリー
c/o The Church of The Good Shepherd

New Bridge Road & South Prospect Avenue, Bergenfield, NJ 07656

Pastor Jun Yoshimatsu 牧師：吉松 純

Church: (201) 385-4100, Parsonage: (201) 338-2744 Homepage: www.umc-japan.org

小山晃佑博士の思い出3

(思い出の1と2はホームページの牧師の雑記帳に掲載)

何をもって、わたしは主の御前に出ていと高き神にぬかずくべきか。焼き尽くす捧げ物として当歳の子牛をもって御前に出るべきか。主は喜ばれるだろうか幾千のお羊、幾万の油の流れを。わが咎を償うために長子を自分の罪のために胎の実をささげるべきか。人よ、何が善であり主がお前に求めておられるかはお前に告げられている。正義を行い、慈しみを愛し、へりくだって神と共に歩むこと、これである。(ミカ書6:6-8)。

去る5月18日(月)に元ユニオン神学校教授で引退後は名誉教授として闘病生活を始めるまで後進の指導にあたられた故小山晃佑博士の追悼式がありました。小山先生の葬儀では先生のお好きだった冒頭のミカ書の言葉が繰り返し引用され、先生の生前の姿を記録したビデオも流され、先生御自身が「神の正義」「外の人である隣人を受け入れる」こと「神の慈、愛」を語られていました。

ユニオン神学校時代、小山先生はエキュメニズム(全ての教会の教派を超えた歩み寄りと一致)を主に教えられました。が、仏教や他の宗教への深い洞察、理解も示され「互いに謙り学びあう」ことを強調されていました。私が皮肉にもアメリカに来て初めて知ったことに日本の多くの教会が、やれ日基(ニッキ=日本基督教団)だ、やれ福音派だ、やれO O先生だ、と自分の違う教会、教派を見下していることでした。私はそれまで父親の教会以外に行ったことがなかったので「日本基督教団がリベラル」だの、「ホーリスネス教団よりも福音自由が更に霊的」だのという類の批判は聞いた事がありませんでした。これは今から30年近くの話ですが、クリスチャン(特に日本人)は、教会の中の人や他教会、他教団を裁く体質は余り変わっていないように思います。

昨年ファミリー・キャンプの昼食中のことです。ダイニング・ホールはビュッフェ式に自分で食べ物を取る方式でしたので、私も列に並んでいたところ、側にいたあるご婦人が他の牧師先生に大きな声で「アメリカの教会も衰退し

ていますよね。特にメソジストはリベラルで全然福音伝道せず、駄目って聞いていますけど。」のような発言をしたので合同メソジスト教団の牧師としては「これは然り」と一言申し上げました。「メソジストが霊的でない、なんてどなたから聞いたか知りませんが、そんなことはないですよ。確かに社会的なことに関わっているのですが、その面ばかりとられて誤解されている方が多いですが、アメリカでリバイバル運動を始めたのはメソジストとバプテストです。ホーリネス(聖化)を主張したのもメソジストですよ。」とお伝えしました。そのご婦人は後から至極恐縮してファミリー・キャンプの解散時に私に近づいてきて「知らないこととは言え、うっかり軽口を聞いてしまい申し訳ありませんでした。」と謝罪してこられました。それには私の方が恐縮してしまいました。実際、私の牧師としての姿勢はどちらかというとそのご婦人の批判に近いかもしれないので・・・。

小山先生の懐の広い神学は仏教国タイで水牛と暮らす柔和な人々の中に顕現される神の深い愛、赦し、歩みの中に見出され、時速5キロの神様(英語原本では3マイルで歩む神)に「神は人と共に歩まれるお方」であるという確信の中に展開、形成されていきました。それは中東の砂漠気候の中に生きた人々の激しい神学でもなければ、西洋の力に物を言わせてきた覇権主義的な神学でもなく、正に稲作を主とし柔和と協調をもって美德とするアジアの神学です。出版後、小山先生は人間の徒歩は平均時速4キロ弱と知り「しまった「時速5キロではちょっとせつちかな神様だったね。」とおっしゃったことがあり、「小山先生、面白いことを言うなあ」と先生のユーモアに感じ入ったことがありました。

他者と共に歩む、共に生きる(これは小山先生が影響を受けたボン・ヘッファーの主張でもあった。)はクリスチャン同士だけでなく、他宗教との関係において、ひいては神と人の関係においても同じです。私たちに神が求められているのは罪の赦しや宥めの捧げ物として多大なる犠牲(今日でいうならこれ見よがしの巨額の献金)でも人の目を引くような献身的荒修行でも善行でもない。「正義を行い、慈しみを愛し、へりくだって神と共にあゆむこと。」です。

しかし、一体どういう意味でしょう。正義を行うは、正義という言葉振りかざし人を裁いたり、「自分はクリスチャンです。自分は罪赦された者であり、正しく歩んでいます。」と生きるのではなく、強者から貶められている弱者、隣人に手を差し伸べたり、差別格差社会を改善すること。何も言わないでいるのは、隠された悪を容認していることと同じです。

「慈しみを愛す」というのも何だか不思議な訳ですが「慈しみ」はヘブル語ではヘツェッドで、善、善良、美德、親切、エルサレム・バイブルでは忠誠、忠義と訳されています。ヘツェッドは小山先生の好きだった言葉です。「愛す」はアハブ（動詞）で文字通り愛するで、善、親切、忠実を愛する、となり上述の正義を行うとも呼応し、実践的「愛」を表現しています。要は口先だけでなく行いと誠を持って愛す。上述の通り弱者、隣人に手を差し伸べることです。

(ヤコブの手紙、ヨハネの手紙一等参照)

また正義や愛と同じくらい大切なのは「へりくだって神と共にあゆむ」こと。信仰生活の基本は安息日を守ってこれを聖とし（十戒の第四戒）、礼拝することにあります。まず礼拝から一週間を始め、神の前に謙虚に生きること。見せ掛けのへりくだり（これは鼻につく）ではなく、真に謙った時、人は誰も裁けなくなり、異邦人であった隣人と共に暮らせるようになる。神は何よりもこれを私たちに望んでおられると私は思っています。 吉松 純

日本語礼拝は毎週午後3時からです。

礼拝予定：

- 6月 7日：礼拝、聖餐式、Jr.教会、畑作業。
- 14日：礼拝、Jr.教会、父の日のプレゼント作り。
- 21日：礼拝、Jr.教会終了&父の日BBQ。
- 28日：NY日本語教会、ユニオン日本語教会と合同1日修養会。

7、8月はJr.教会はお休みです。

- 7月 5日：礼拝、聖餐式
- 12日：礼拝
- 19日：礼拝
- 26日：礼拝 サマーキャンプ・スタート
- 8月 2日：礼拝、聖餐式
- 9日：礼拝
- 16日：礼拝
- 23日：礼拝
- 30日：礼拝

報告：

行事、プログラム案内：

- * 去る6月6日（土）グッドシェパード教会で岩永善信氏のクラシック・ギター・コンサートがありました。お出でくださった方に心より感謝いたします。
- * SMJ、ユニオン日本語教会、日米合同教会と私達の日本語ミニストリーが共催で小学生のサマーキャンプが持たれます。7月26日から8月7日までの2週間、費用は975ドルです。詳細は<http://wontan.liu.edu/~izumi/camp/>をご覧ください。
- * 6月28日（日）ニューヨーク日本語教会、ユニオン日本語教会、私たち合同メソジスト日本語ミニストリーが合同で礼拝と讃美、証、交わりをメインに1日修養会をします。日ごろ他教会との交わりが少ない小教会にあっては、他の教会の信徒との交わり、証を聞くことは大きな恵みです。詳細は別ページにあります。

お祈り下さい。献金もいつでもお受けしています。

- * サマーキャンプの為
- * ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。
- * 消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（JOC S）に送ります。JOC S海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。
- * ケニヤの恵まれない子供達やエイズの患者さんの為に特別献金をしています。
- * パターソンのSt. Philip伝道と社会福祉団体CUMAC/ECHOの為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

チェックのあて先は UMC-JA とし、どのプログラムに献金したいか明記して下さい。

教会の住所：

UMC-Japanese Ministry

The Church of the Good Shepherd, UMC.

326 New Bridge Rd. Bergenfield, NJ 07621

英語オフィス(201) 385-4100

ホームページ：<http://umc-japan.org>

牧師館：(201) 338-2744

吉松牧師 junyoshim@optonline.net

教会学校担当：吉松 泉姉

izumi.yoshimatsu@gmail.com

One Day Retreat

主の前に静まる

日時：2009年6月28日（日曜日）午後12時15分から
場所：ニューヨーク日本語教会
26 Cameron Place, Tuckahoe, NY 10707

目的：牧師のメッセージが中心ではなく、それぞれが聖書をじっくりと味わい、他の人と分かち合う時間を持つ。神様の言葉を聴き、神様のみ前で静かに過ごす時間を持つことによって、新たな思いと力を受ける。

プログラム：

12:15-1:15 昼食（軽食を人数分オーダーする予定）

1:15-1:45 セッション1

（15分休憩）

2:00-2:30 セッション2

2:30-3:15 スモールグループ

（15分休憩）

3:30-4:00 セッション3

4:00-4:30 スモールグループ

4:30-4:45 閉会集会

（15分休憩）

5:00- 夕食（教会の庭でBBQ）自由解散

参加費：約15ドルを予定。（昼食、夕食、茶菓子の実費。部分参加有り。）

申し込み方法：電話（914）961-8407（鈴木牧師まで）

Email jsuzuki@nyjc.org

いずれかの方法で、名前、電話番号、昼食、夕食の有無を教えてください。

主催：ニューヨーク日本語教会、合同メソジスト教会日本語ミニストリー、ユニオン日本語教会